

古保利小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			熊野 No.1				西柳野 No.2				西阿閉 No.3			
月 日 時 刻			6月14日 10時00分		6月23日 9時40分		6月30日 10時00分							
天 気			晴れ		晴れ		晴れ							
水 温 (°C)			22.0 °C		21.0 °C		25.0 °C							
気 温 (°C)			25.1 °C		27.0 °C		31.0 °C							
川 幅 (m)			7.7 m		1.3 m		1.1 m							
河 川 名			余呉川		余呉川支流(用水路)		余呉川支流							
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面		全面		全面							
水 深 (cm)			15.0 cm		46.0 cm		15.0 cm							
流 速 (cm / s)			40.0 cm/s		29.0 cm/s		46.0 cm/s							
水 の よ う す		指標生物												
I きれい	1	カワゲラ類												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類												
	3	ヒラタゲロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	ガガンボ類	○				○							
	7	サワガニ					○							
I・II 共通	8	ウスムシ類												
	9	2以外のトビケラ類	○				○							
	10	3、14以外のカゲロウ類												
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類												
	12	ジミ類	○		○		○							
II・III 共通		13	カワニナ	○		●		●						
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類			○		○							
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通		18	サカマキガイ											
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミミズ類	○				○							
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	2	3	1	1		2	2		3	3	2	1
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)						1	1			1	1	
	合 計 (1欄+2欄)		2	3	1	1		3	3		3	4	3	1
	判定結果(合計が最も大きい区分)		II				II・III				II			

【調査活動を行う児童の実態】

古保利小学校では、毎年、4年生がみずすまし調査隊となり、「総合的な学習の時間」に調査活動を行っています。今年度の4年生は、男子7名、女子8名、計15名です。地域の川で魚とりをして遊んでいる児童もいる中、川にほとんど入ったことがないと答える児童もいました。また、「川に入るなんて気持ち悪い。」「生き物に触りたくない。」と話す児童もいましたが、活動する回を重ねるごとに、意欲的に取り組む姿が見られました。

【調査活動を行う前に】

4年生の1学期の「総合的な学習の時間」に、みずすまし調査隊としてどんなことがしたいか、話し合いました。児童の意見を聞くと、「自分の住んでいる地区の川にどんな生物がいるのか知らないから調べたい。」「去年の4年生と同じところに行って調べたい。」という意見が出ました。これらの意見をもとに相談し、今年度も昨年度調査した川と同じ川で調査することにしました。

今年度調査する川は、

- ① 余呉川（熊野地点）
 - ② 学校東用水路（余呉川支流（西柳野地点））
 - ③ 余呉川支流（西阿閉地点）
- としました。

【第1回みずすまし調査】

日時：6月14日 10:00～11:30

場所：余呉川（熊野地点）

天気：晴れ

〈川の様子〉

川底には泥が多く、川べりはコンクリートで覆われています。また、川岸には、ヨシや草が生えていました。法面が急で川に入る時に注意を要しました。

〈調査の様子〉



用具の使い方や生き物のとり方などの説明を受けました。



川の中や川岸から様々な生物を採取しました。
川底の泥の中や、中洲の草の中にも生物が見つけられました。



〈採取生物〉

調査票にある生物：ガガンボ類、トビケラ類、シジミ類、カワニナ、イトミミズ

調査票にない生物：ヤゴ、ザリガニ、エビ類（マエビ、ヌマエビ）、ドンコ、ドジョウ、ヨシノボリ、カワムツ

〈調査まとめ〉

講師の先生の説明をよく聞き、正しく道具を使いながら、水生生物をつかまえることができました。初めは嫌がっていた児童も、他の児童が声をかけたり、サポートしたりしながら、少しずつ一緒に活動できるようになっていきました。講師の先生から初めての調査だったため慣れないこともあり、一つひとつの作業に時間がかかってしまいました。観察・まとめの時間を現地で十分に取れなかったのが残念でした。

【第2回みずすまし調査】

日時：6月23日 9:30~11:30

場所：学校東用水路（余呉川支流（西柳野地点））

天気：晴れ

〈川の様子〉

学校横用水路は、前回の川に比べ、川幅がとてもせまく、農作業の時期で、水が多くにごっていました。水位は児童の膝くらいまでありました。水の流れは少し速かったです。

〈調査の様子〉



川の中や川岸から、様々な生物を採取しました。



道具の使い方に慣れてきましたが、にごりや水の流れが少し速かったため、苦戦しました。



採取した生物の名前や生態を調べ、調査表にまとめました。

〈採取生物〉

調査票にある生物：カワニナ、シジミ類 ヒル類

調査票にない生物：アメリカザリガニ、エビ（ヌマエビ、スジエビ）、コオイムシ、ヤゴ、ドンコ、ドジョウ、ゲンジボタルの幼虫

〈調査まとめ〉

前回の調査で一通りの経験ができ、見通しが持てたこともあり、1回目よりも積極的に取り組む児童の姿がありました。水位が高く濁っていたり、川幅が狭かったりしたので、調査が少ししづらかったです。今回はゲンジボタルの幼虫を見つけることができ、子どもたちは興味をもって観察をしました。川に入ることに慣れ、たくさんの生物を見つけることができ、満足する姿が見られました。

【第3回みずすまし調査】

日時：6月30日 10:00～11:30

場所：西阿閉（余呉川支流）

天気：晴れ

〈川の様子〉

水位は3回の調査のうち一番少なく、児童の足首ほどでした。また、見た目はきれいで、流れの速い場所もありました。川べりは石積みやコンクリートによる埋め立てで、川底には砂や泥がありました。

〈調査の様子〉



これまでの経験から水草の中や川べりなどに目星をつけて、生物を探していました。

採取した生物を講師の先生に見せ、生物名を聞く児童もいました。

採取した生物の名前や生態を教えてもらい、調査表にまとめました。

〈採取生物〉

調査票にある生物：ガガンボ類、サワガニ、トビケラ類、シジミ類、カワニナ、ヒル類、イトミミズ類

調査票にない生物：ダルマガエル、ヌマエビ、ドジョウ、ヌマチチブ、アブラボテ、ナマズ

〈調査まとめ〉

道具の使い方や調査票への書き方にも慣れ、活動がスムーズに進むようになってきました。今回は川の流れが速い場所もありましたが、前回、前々回の活動を生かし、水草の中や岩の裏などに目星をつけて生物調査をすることができました。また、場所によって違う生物が生息していました。

【調査活動の感想】

- ・ 普段、川幅、水深などを測ることが無かったので勉強になりました。水生生物を夢中になって探していたら、ガガンボの幼虫を発見することができました。まだまだ小さかったけれど、どんどん成長して行ってほしいです。
- ・ カワニナを大量に発見しました。網をガサガサとしていたらたくさん入ってきました。カワニナは水槽に入れていたら水をきれいにしてくれますが、川はあまりきれいではありませんでした。
- ・ みんな楽しく水生生物調査をすることができました。最初は気持ち悪くてさけんでいましたが、だんだん慣れて、水生生物を見つけるコツがわかりました。ぼくは、川が少し汚れているからといって、とつぜんきれいにしてしまうと、今いる水生生物がいなくなってしまうので、少しずつきれいにする方がいいのかなと思いました。